

## 第1章 総論

### リニア活用基本構想策定の趣旨

リニア中央新幹線の「(仮称)リニア山梨県駅」(以下「リニア駅」という。)が設置される本市では、リニア開業による効果を最大限に享受し、市域全体の活性化につなげるため、リニア時代を見据えたまちづくりの基本的な考え方や施策の方向を示し、市民の皆様と協働で施策展開を図ることを目的に「甲府市リニア活用基本構想」(以下「リニア活用構想」という。)を策定します。

### 計画期間

2017(平成29)年からリニア開業年である2027(平成39)年までとします。  
 なお、社会経済情勢の変化や新たに発生する需要などを勘案する中で、必要に応じて見直していきます。

### 上位計画等との整合

リニア活用構想は、国の「首都圏広域地方計画」、県の「リニア環境未来都市整備方針」並びに「第六次甲府市総合計画」、「甲府市人口ビジョン」、「こうふ未来創り重点戦略プロジェクト」及び「甲府市都市計画マスタープラン」等との整合性を図ります。

## 第2章 リニアの概要

### リニア中央新幹線の概要

リニア中央新幹線は、東京都(品川)から甲府市や名古屋市を經由し、大阪市までの約440kmを、我が国独自の最先端技術である超電導リニアにより、約1時間で結ぶ世界初の未来型新幹線です。2027(平成39)年のリニア開業により、本市には、首都圏及び中京圏に対し、大きな時間短縮効果が期待されています。

中央新幹線の整備計画	
建設線	中央新幹線
区間	東京都・大阪市
走行方式	超電導磁気浮上方式
最高設計速度	505km/時
建設に要する費用の概算額(車両費を含む。)	90,300億円
その他の必要な事項	主要な経過地 甲府市付近、赤石山脈(南アルプス)中部、名古屋市付近、奈良市付近



▲リニア中央新幹線の概要とルート概略図  
 出典：リニア中央新幹線建設促進期成同盟会ホームページ



▲リニア開業後の所要時間  
 出典：山梨県リニア影響基礎調査報告書

## 第3章 甲府市の現状と課題

リニア中央新幹線の中間駅が設置される本市と、飯田市、中津川市の現状を比較して、本市の強みと弱みを整理し、これからのまちづくりの期待や課題を把握します。

### 甲府市の特徴

●甲府市の強み	(期待)
人口、観光客数、年間商品販売額、主要駅の乗車人数が多い	⇒ 定住人口及び交流人口の拡大
主要駅の利用者とその増加率が高い	⇒ 県内市内の円滑な移動や活性化
宅地の価格差が大きい	⇒ 都市部や農村部などへの多様な宅地の選択
昼夜間人口比が高く、流入超過傾向にある	⇒ 都市の活性化の増進
医師数、歯科医師数、薬剤師数及び病床数が多い	⇒ 安全安心な暮らしやすさ

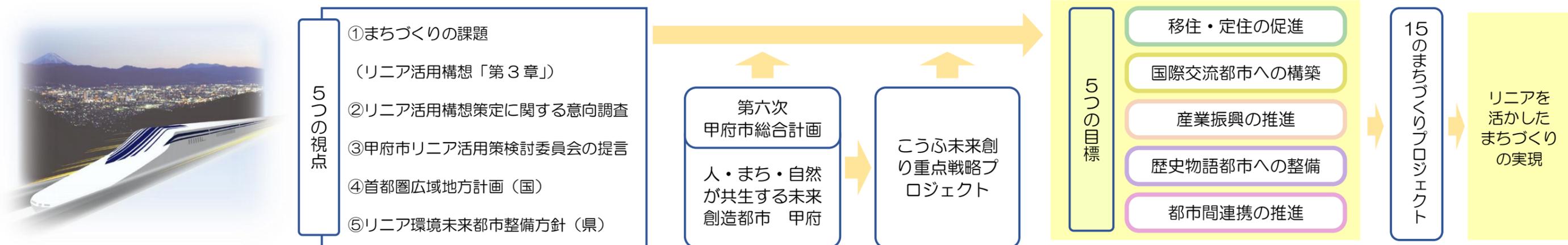
  

●甲府市の弱み	(課題)
製造品出荷額等と事業所数が少ない	⇒ 雇用機会の創出に向けた新たな産業誘致が必要
農林業が衰退傾向にある	⇒ 農林業施策の拡充や六次産業化の取組等が必要
大都市圏への通勤通学者が少ない	⇒ 大都市圏への通勤通学者に対する支援策が必要

### 甲府市の現状とまちづくりの課題

- 豊かな自然環境の保全と良好な住環境の創出
  - ・豊かな自然環境の保全
  - ・豊かな自然と都市機能が調和した住環境の創出
- 訪日外国人への対応
  - ・外国人観光客の受入れ環境の充実
  - ・留学生受入れ環境の整備
- 雇用の拡大と人口減少・少子高齢化への対応
  - ・企業誘致のための環境整備
  - ・人口減少・少子高齢化に対応した住環境の整備
- 歴史に触れる魅力あるまちづくりの創出
  - ・歴史の香り漂う魅力あるまちづくりを創出
  - ・歴史・文化資源を活かした観光メニューの創出
- リニア中央新幹線を活かした都市間連携の強化
  - ・周辺都市との連携の強化
  - ・県内観光地との連携の推進
  - ・大都市圏との持続的連携体制の構築

# 第4章 目標の設定



# 第5章 リニアを活かしたまちづくりの方向

都市像	目標	内容	施策	まちづくりプロジェクト	まちづくりプロジェクトの内容
人・まち・自然が共生する未来創造都市 甲府	移住・定住の促進	リニア中央新幹線の高速度交通機能と本市の自然豊かな地域特性を活かし、豊かな緑地空間を備えた景観に配慮した良好な住環境を整備し、首都圏や中京圏等からの移住促進を図るとともに、本市の強みである農地や森林を有効に活用し、生活環境の向上やライフスタイルの多様化に対応する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 まちなか区域等の生活基盤の整備</li> <li>2 農地の活用</li> <li>3 中山間地の活用</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① まちなか区域・地区拠点への移住・定住の支援及び公共交通ネットワークの構築</li> <li>② 農地の継続的な活用及び農業の魅力発信</li> <li>③ クリーンエネルギー（木質バイオマス等）への取組・自然体験ツアー等の充実</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リニア駅への円滑なアクセスが確保できるエリアへの居住機能の誘導／移住・定住の促進に向けた支援／公共交通ネットワークの構築</li> <li>農地の継続的な活用／農業の魅力及び情報の発信</li> <li>クリーンエネルギー（木質バイオマス等）への取組／自然体験ツアー等の充実</li> </ul>
	国際交流都市への構築	リニア中央新幹線の開業を通じて、新ゴールデンルートが形成され、インバウンド観光の飛躍的な拡大が期待されることから、外国人観光客のニーズに合った着地型観光の新規開発や地域資源の魅力向上とともに、留学生等との交流推進や市民の外国語及び外国文化学習機会の増進を図る。	<ol style="list-style-type: none"> <li>4 外国人観光客の誘客促進</li> <li>5 留学生等との交流推進</li> <li>6 国際教育の充実</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>④ インバウンド着地型観光の拡充</li> <li>⑤ 産学官の連携による留学生等の受入れ環境等の充実</li> <li>⑥ 外国語及び外国文化講座等の開催</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市を拠点として県内観光地を周遊する観光メニューの開発／姉妹都市などとの交流の拡大／公共交通等による市内観光資源への移動利便性の向上／多言語での観光情報の積極的な発信／外国人観光客の受入れ体制の強化</li> <li>都市間交流の推進／留学生等の誘致・定着の促進／留学生等の生活環境の充実支援及び市民等との交流の促進／留学生等とのネットワークの構築</li> <li>公民館等を活用した外国語講座の実施／諸外国の文化や歴史を学ぶ講座の開催</li> </ul>
	産業振興の推進	豊かな自然環境や子育てしやすい生活環境等が整っている本市では、リニア開業効果による大都市圏との時間距離が短縮され、企業立地のポテンシャルが高まることから、新たな企業への事業用地の確保や優遇施策の他、市有地の有効活用を展開し、雇用創出に向けた企業誘致を積極的に図る。	<ol style="list-style-type: none"> <li>7 企業誘致（用地の支援）</li> <li>8 企業誘致（補助金等による支援）</li> <li>9 市有地の活用</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>⑦ 企業向け事業用地の支援</li> <li>⑧ 産業集積の推進</li> <li>⑨ 公共施設等マネジメントの推進と市有地の利活用</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな事業用地マッチングシステムの導入／市有地・民有地を含めた低未利用地の発掘／交通の要衝となる地域における事業用地の開発支援</li> <li>企業誘致条例による支援／産業集積促進助成金による支援の拡充</li> <li>積極的な民間等への売却／売却方法の検討／民間事業者との連携</li> </ul>
	歴史物語都市への整備	リニア中央新幹線の開業を通じて、国内外の旅行者の飛躍的な増加が見込まれることから、本市の強みでもある古代・中世・近世の歴史資源の有効活用や魅力向上を図るとともに、市民や旅行者の学習達成感が満たされるよう、優秀な歴史総合案内の人材を育成する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>10 歴史資源の魅力向上</li> <li>11 歴史資源の活用</li> <li>12 歴史総合案内の人材育成</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>⑩ 武田氏館跡及び甲府城跡周辺地域の整備</li> <li>⑪ 甲府の歴史資源を活用した観光メニューの開発</li> <li>⑫ 歴史ロマン総合ガイドの育成</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>武田氏館跡の整備／甲府城跡周辺地域の整備</li> <li>歴史資源を活用した楽しく回遊できる観光メニューの開発／「こうふ開府 500 年」及び「武田信玄公生誕 500 年」を活用した誘客の促進</li> <li>本市の観光資源の魅力を発信できる人材の育成／「歴史ボランティアガイド」の育成</li> </ul>
	都市間連携の推進	リニア中央新幹線の開業を通じて、都市の新しい魅力づくりや付加価値を創出するため、都市間の「連携のかたまり」を形成する必要があることから、「甲府都市計画区域（甲府市・甲斐市・中央市・昭和町）内都市のまちづくり連携」及び「県内都市との観光連携」、「大都市圏内都市との連携」を設定し、それぞれの目的に沿った連携強化を図る。	<ol style="list-style-type: none"> <li>13 甲府都市計画区域内都市連携</li> <li>14 県内都市連携</li> <li>15 大都市圏内都市連携</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>⑬ 甲府都市計画区域内都市とのまちづくり連携</li> <li>⑭ 県内都市との観光連携</li> <li>⑮ 首都圏及び中京圏内都市との連携</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アクセス道路の整備促進／観光周遊ルートの検討／物産店、案内所等設置の検討</li> <li>富士山等を観光資源とする自治体との連携の推進／峡東地域の自治体との連携の推進</li> <li>シティプロモーションの充実／体験型ツーリズムの展開／各種災害への対応／新たな通勤圏に向けた対応</li> </ul>